

## DX推進はビジネスの変革



経済産業省の「DXレポート」の発表をきっかけに、DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉を知った方も多いかと思います。

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、企業として単にデジタル化やIT化をする事では無く、「新たなデジタル技術を活用して、新たなビジネス・モデルを創出、素早く新たな製品、サービスを市場に展開」する事が定義されています。

多くの企業ではDX推進が必要であると認識し、デジタル部門を設置する等の取り組みが見られているようですが、実際のビジネス変革には繋がっていないのが現状のようです。

### <DX推進事例>

#### ①AIを活用した配車システムの導入

気象情報、鉄道の遅延情報、イベント情報等を組み合わせAIが分析し自動予測。需要に合わせた配車が可能になりタクシー車輛の稼働率が上昇。新人運転手の乗客探しの支援も可能に。

#### ②VRを活用したオンライン内見

現地に行かずに多くの物件情報を得られる為、顧客の不便さが改善される。

またコロナウイルスの感染リスクの低減にも繋がる事となる。

これまでITは、ビジネスにおいて人が担っている作業を効率化し、生産性を向上する事を目的として利用されてきましたが、現在はITを使って新規ビジネスを創造する時代になっています。



<文責：山岡>

## 女性の「職業別平均年収」



先月、女性の「職業別平均年収」が発表されました。（弁護士を除く）上位4位迄が年収800万を超えております。高額トップは医師で年収1,188万円、続いて大学教授が1,021万円となっております。（准教授は843万円～4位）

医師の平均年齢は40.6歳という若さですから専門の資格を持っている事は強いです。一方、大学教授はすぐになれる職種ではなく、平均年齢が57.6歳となっており、生涯年収は少し少なくなるのではないのでしょうか。

次に、一般的に多くの女性が就いている職種はどうなっているのでしょうか？一番人数が多かった職種に介護職員が1位となりその年収は343万円です。2位が看護師で490万円となっており、准看護師は410万円と16位に留まっております。ここでも持っている資格で年収はかなり違ってくるという事です。

ちなみに、資格とはあまり関係がない職種に販売店員がありますが、こちらは4番目に多い職種です。こちらの平均年齢は42.6歳と他とあまり変わりませんが、平均年収は274万円と300万円を切っております。資格も必要なく、働き始めやすい職種なのかもしれません。

女性は出産や育児等がある為、生涯通して働き続けるには難しい局面がある為、どのように働き続けるか(再び働くか)を周りがもっと考えるべきなのではないのでしょうか。



<文責：黒浜>

